

## 教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成30年4月19日(木) 午後1時30分～午後3時00分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君      2番 井上 靖史君  
3番 山本 香織君      4番 沼田 芳美君  
5番 村上 惠宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成      次長兼教育総務課長 岸 弘美  
教育指導課長 操上 俊樹      幼児教育課長 稲葉 祐人  
生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 鈴木 慎一  
教育総務課課長補佐 太田 靖久      主事 杉山 詩乃
- 6 傍 聴 人 2名
- 7 会議の経過

**高橋教育長**：ただ今から伊東市教育委員会4月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

**教育長**：続いて、平成30年4月1日付け人事異動に伴い、新たに教育部に配属された職員の紹介を行う。関連する項目として、議題3その他「平成30年度伊東市教育委員会の組織機構等について」も併せて議題とする。

(富士教育部長から資料に沿って説明)

**教育長**：続いて事務局から報告を行う。

(事務局から傍聴希望者の報告)

**教育長**：議事に入る。教育長報告を行う。4月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 3月26日 政策会議、市文化財保護審議会、宇佐美学園校長来庁
- 27日 伊東市子ども子育て会議
- 28日 伊東市立学校・園の適正規模及び配置に関する建議
- 29日 市職員防犯講話
- 30日 退職発令
- 4月 2日 人事異動発令、初任者研修会
- 3日 社会教育指導員任命発令
- 4日 園長・校長会、教育相談室人事発令
- 5日 公立・私立保育園長会
- 6日 市内一斉交通安全運動
- 8日 第42回金獅子オール伊豆社会人ソフトボール球技大会
- 9日 JA あいら伊豆・食農補助教材寄贈
- 10日 県市町教育長会
- 11日 子育て支援センター・社会福祉協議会訪問、
- 12日 第1回生徒指導協議会、課長会議
- 13日 東部教育長会、課長会議
- 15日 玖須美山頭火まつり
- 16日 スポーツ推進委員委嘱式、議員による学校施設現地視察
- 17日 静岡県教職員組合東豆支部来庁、統括学校事務主幹来庁
- 18日 高校・特別支援学校訪問
- 18日 教育委員会定例会、総合教育会議、教頭会、女性連盟総会、

以上で報告を終わるが、何か質問や意見はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：それでは、各委員からの報告をお願いします。

**委員：**東小学校と南中学校の入学式に参加した。全体的に子どもたちの人数が減っていると感じたが、新しい希望に満ちた入学式だったことが良かった。特に東小学校の校長先生がわかりやすく興味のひく話であり印象的だった。

**教育長：**その他、何かあるか。

(その他報告なし)

**教育長：**それでは、議題に入るが、議事進行の都合上、教議第1号を最後の議題とするため、教報第1号の「伊東市立学校・園の適正規模及び配置に関する建議書（概要）について」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

**教育長：**ただいまの説明について意見・質問はあるか。

**委員：**学校を統合すると統合される側の学校周辺は加速度的に寂れてしまうという懸念があるが、そもそも市は統廃合の方向で考えているのか。伊東市を繁栄させていくのであれば、現状維持もしくは増やすぐらいの方向性や施策は考えられないか。統合ありきの話であれば簡単な話だが、打開策を考えていくのが行政の役割であると思う。

幼稚園・保育園については、幼稚園教諭と保育士の免許は違うが、幼稚園と保育園の需要のバランスが上手くとれば人材面での対応が可能になると思う。

**教育部長：**統廃合により学校が無くなれば街も衰退してしまうという懸念はある。市も子育て支援に力を入れており、少子化に歯止めをかけようと政策を行っているが、成果が何年後に出てくるかは不明である。統廃合の考え方としては、子どもたちの善良な教育環境の確保というのが最大目標であり、子どもたちの教育環境を第一に考え対応していきたい。

**委員：**建議書では、川奈小が「課題が極めて大きく」となっているが、川奈臨海学園との関係はどのようになっているのか。

**教育長**：川奈臨海学園から川奈小の方に通っている子がおり、川奈小のだいたい3分の1くらいが川奈臨海学園から通っている子である。

**委員**：もし川奈小がなくなった場合、川奈臨海学園から川奈小に通っていた子はどこの学校に行くことになるのか。

**教育長**：川奈小がなくなった場合の対応については今後検討していくことになるが、南小に行くとか、もう少し規模の小さい学校に行くといった選択肢が想定される。

**委員**：認定子ども園について、伊東市の方ではどう考えているのか。

**稲葉幼児教育課長**：認定子ども園については、他市町では整備が進んでいるが伊東市では具体的な方針は決まっていない。施設の老朽化もあり、今後、教育委員会で具体的に検討していく。

**教育長**：その他、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

**教育長**：次に教報第2号「平成30年度教育指導課指導の重点について」を議題とする。

（**操上教育指導課長**から資料に沿って説明）

**教育長**：意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

**教育長**：次に、その他に移る。「平成30年度小中学校、幼稚園・保育園一覧表について」を議題とする。

（**富士部長**から資料に沿って説明）

**教育長**：意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

**教育長**：それでは「各課報告について」を議題とする。

**岸次長兼教育総務課長**：教育総務課から3点報告する。まず、学校現場の事務の効率化、先生の多忙解消のために、学校に4月から市役所を退職した市職員を再任用職員として配置した。業務としては、学校給食の事務や経理事務を行う。この1年間、再任用職員が色々な事業を行うなかで、次年度に繋がる活動にしていきたいと考えている。また、西小学校に市内の小中学校の用務や作業を一括して担当する職員を配置した。この職員については、教育総務課や学校現場からの依頼により、すぐに現場に行って修繕箇所の調査や簡易修繕を行うなど、現場と委員会との橋渡し、現場の困っている感にすぐ対応するよう配置した。2点目として、4月16日に衆議院議員の勝俣孝明議員が今年度予算計上している南中学校と旭小学校のトイレ改修工事の現場視察に来られた。今後国の補助金の交付が決定されれば事業を進めていく。3点目として、本日環境課から市内の小中学校、幼稚園、保育園へトイレットペーパー100箱の寄贈があった。寄贈のセレモニーは大池小学校で実施した。今後寄贈されたトイレットペーパーを教育総務課の職員が各学校・園に配布し、学校現場で活用していく。

**操上教育指導課長**：教育指導課から報告する。生徒指導関係について、問題行動は全国的な傾向として小学校の件数が増えている。これは問題行動、非行化も含めて低年齢化していること、特別な支援を要する子どもの割合が非常に高くなっており、そのような子が問題行動を起こしてしまうことが要因だと考えられる。ただ、伊東市の小中学校については、先生たちが1人1人に丁寧に対応していることもあり落ち着いている。

不登校については、小学校・中学校とも静岡県の数値を上回っている。不登校に関しても先生方の丁寧な対応により、少しずつ減らしていければと考えている。

いじめについては、件数の定義が認知件数ということに変わったため、平成29年度の認知件数が非常に増えている。しかしながら、これは先生方のいじめに対する意識が非常に高まっているというような裏返しでもあると考えている。学校においても解消に向けて一生懸命頑張っている。

**稲葉幼児教育課長**：幼児教育課から報告を行う。1点目は4月現在の園児数の状況について報告する。

(資料に沿って報告)

次に、「子ども子育て支援事業計画」について報告する。

(計画に沿って報告)

**杉山生涯学習課長**：生涯学習課から報告を行う。平成30年度生涯学習課の事業スケジュールについて報告する。

(資料に沿って報告)

**教育長**：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**教育長**：ここで、傍聴人について事務局から報告を行う。

(事務局より傍聴人の報告)

**教育長**：本日の定例会に2名の方から傍聴の申し出があったので、これを許可する。

**教育長**：それでは、議事に入る。教議第1号「伊東市文化財の市指定について」を議題とする。説明をお願いする。

(杉山生涯学習課長から資料に沿って説明)

**教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：市文化財に指定された場合、案内板や周辺を整備していくのか。

**杉山生涯学習課長**：現状の道路自体は整備しないが、案内看板等は立てて、文

化財の道路と分かるようにしていきたい。

**委員**：現状でも危険なく通れるか。

**杉山生涯学習課長**：通れる。全長で1900mくらいあるが、坂道を感じさせない素晴らしい道である。

**委員**：歩くとどのくらい時間がかかるか。

**杉山生涯学習課長**：中央区立宇佐美学園から1時間程度で歩ける。

**教育長**：私も実際に歩いたが、旧街道の雰囲気・歴史を非常に感じる事ができた。周辺は崩れているところもあり、教育委員会が文化財を守っていくという視点から修繕なども必要になっていくと思うが、対応はどうか。

**杉山生涯学習課長**：道路なので市の建設課の管轄になる。建設課と協議し文化財の部分を残しながら守っていく方向で対応していきたいと考えている。

**教育長**：道が文化財に指定されるというのは市で何番目になるのか。

**杉山生涯学習課長**：初めてである。

**委員**：今回の指定には周辺の土地は入っていないのか。

**杉山生涯学習課長**：入っていない。

**委員**：馬頭観音などの民間の土地にあるものは今回の指定に含まれないのか。

**杉山生涯学習課長**：今回は含まない。道を文化財に指定することにより、周辺の馬頭観音なども大事であることを啓発していきたい。

**山本委員**：地元にも知らない人がいると思うので、子どもたちが知る機会があれば良いと思う。

**教育長**：文化財に指定するだけでなく、それを活用していくこと、子どもたちに伊東の歴史も含め知ってもらうことが大切である。学校教育の中でこういった道があること、また整備状況にもよるが遠足のコースとして歩くことも考えられる。この道を末永く伊東の子どもたちに財産であるということを知ってもらう

機会が大切だと思う。

**教育長**：他に質問・意見はあるか。

（質問・意見なし）

**教育長**：それでは、教議第1号「伊東市文化財の市指定について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

**教育長**：承認が得られたので、教議第1号については原案どおり決定する。以上で議決事項を終了する。

**教育長**：今後の日程について確認する。

5月の定例会については、5月23日（水）午後2時30分から

6月の定例会については、6月26日（火）午後2時30分からを予定している。

**教育長**：以上で伊東市教育委員会4月の定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃